

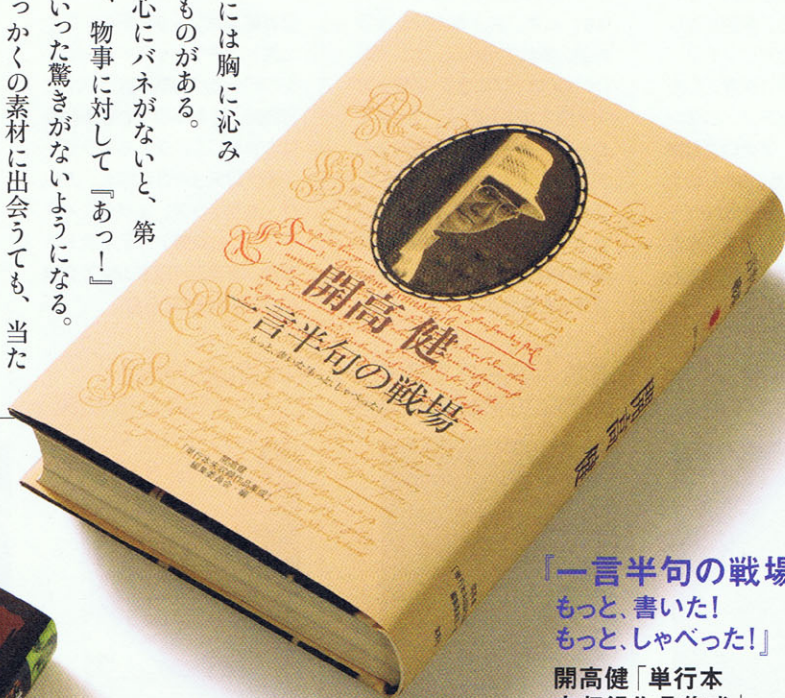
今だからこそ、粹にとらわれない男になりたい
 開高健とトム・ウエイツ。東西の「粹にとらわれない個性的な男」の新作がお目見え。

一言半句、
 鮮烈な文句があれば、
 もう十分だ

男ならだれしも、少年時代は世間の
 枠に縛られない自由な生き方に憧れ
 る。しかし、実際に世の中に出てみる
 と、社会のあまりの厳しさに、規範の
 存在をありがたく感じたりして……。
 今月は、規格外のふたりの男の新作を
 ご紹介。

まずは芸術、文学、女性、食、釣り
 など多方面にわたって縦横無尽に語り
 つくしたカリスマ作家・開高健。本人
 が平成元年に没したにもかかわらず
 「新刊」と銘打っているのは、彼と親
 交があった編集者たちで構成された編
 集委員会が、単行本や全集に未収録の
 対談、インタビュー、エッセイ、コラ
 ムを1冊にまとめたためだ。

本書には、たばこ業界誌に寄稿した
 一節「死を直前にしたベトナム兵に無
 意識にたばこを差し出していた」など、
 当時の時代のおいが鮮やかに甦って
 くる文章が多数。名コピーライターで
 もあった開高が『週刊プレイボーイ』
 誌で語った「心のバネを持っていない
 と『落ちた犬』になっちゃうぞ」とい
 うフレーズは、人生を50年もやった人



「一言半句の戦場」

もっと書いた！
 もっとしゃべった！

開高健「単行本
 未収録作品集」

編集委員会・編
 集英社 3,360円

間には胸に沁み
 るものがある。

「心にバネがないと、第
 一、物事に対して『あつ！』

といった驚きがないようになる。

せっかくの素材に出会うても、当た
 り前や、と思うようになる。もう、こ
 うなったら書けませんな」（『一言半句

の戦場』から引用）。

人生を無駄にするな。

本当に重要なことは

目に見えないもんさ！

アメリカで「粹にとらわれない」ア
 ーティストといえば、何人かの名前の
 なかには必ずトム・ウエイツがいる。



『トム・ウエイツ
 素面の、酔いどれ天使』

パトリック・ハンフリーズ
 訳／金原瑞人

東邦出版 2,730円

子供の頃から仲間がこぞって聴いてい
 る流行の音楽は聴かず、フランク・シ
 ナトラを聴いていた彼は、どんなスタ
 イルにもはまらないセンスとユーモア
 を持ったミュージシャン、俳優で、開
 高健も脱帽の言葉の魔術師でもある。
 「おれは飲んで暴れたりしない。飲め
 ないと暴れたくなるんだ」
 といった、皮肉で独創的な「ウエイ
 ツイズム」あふれる名言がぎゅっしり詰
 まった本書は、さしずめトム・ウエイ
 ツ本の決定版。名言が太字で読みやす
 く、拾い読みするだけで楽しい。
 長いサラリーマン生活のせいで、会
 社のために身を粉にして働く男が身
 についてしまったあなたには、
 「人生を無駄にするな。本当に重要な
 ことは目に見えないもんさ！」
 という、彼にしてはマトモなフレー
 ズをプレゼントしよう。